

教科(科目)	芸術(書道Ⅰ)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『書道Ⅰ』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

- ① 基礎的な能力の育成。
- ② 表現・鑑賞の学習を通した生涯学習社会における資質・能力の育成。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業時の観察 ・ワークシート ・作品 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業時の観察 ・ワークシート ・作品 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中におこなう作品鑑賞会での発表やワークシートへの取組の観察 ・前向きに授業に取組み、他者の作品についても興味関心をもつこと。作品についての分析や考えを言語化できるよう努める。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	導入 《書写から書道へ》		・書写と書道の違いを理解する。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。		
5	仮名の書 《古筆の臨書》	いろは歌 高野切第三種	・鑑賞を通して仮名の成立について理解する。 ・基本線の練習をする。 ・変体仮名について理解する。 ・古典の用筆・運筆を理解し、身に付ける。 ・連綿の練習をし、その効果を理解する。	10	授業時の観察 ワークシート 作品
6					
7	漢字の書 《楷書の臨書》	孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘	・基礎的な用筆・運筆を習得する。 ・鑑賞を通して、肉筆と拓本の線の違いについて理解する。 ・古典名・時代・作者名を理解する。 ・各古典の用筆・運筆を理解し、身に付ける。 ・鑑賞を通して各古典の線質、字形や構成を理解し、表現する。	20	授業時の観察 ワークシート 作品
9	漢字の書 《篆刻》	牛橛造像記	・漢字の書体の変遷を理解する。		
10			・鑑賞を通して印に対する理解を深める。	10	
11	漢字の書 《行書の臨書》	蘭亭序	・行書の特徴を理解する。 ・古典名・時代・作者名を理解する。 ・字形の取り方を理解する。 ・用筆・運筆法を理解する。		
12	漢字の書 《創作》		・表現の研究をする。(線の表現や構成の工夫、) ・制作意図に基づいた表現をする。 ・他者の作品を鑑賞し、批評する。	12	授業時の観察 ワークシート 作品
1	漢字仮名交じりの書 《名言名句を書く》	俳句を素材として 作品制作	・表現の研究をする。(線の表現や構成の工夫) ・制作意図に基づいた表現をする。 ・他者の作品を鑑賞し、批評する。	12	授業時の観察 ワークシート 作品
2	生活の中の書 《実用書の学習》		・のし書きや履歴書、手紙文の書式をふれる。		
3		のし書き		6	授業時の観察 ワークシート 作品

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・各単元・教材ごとに作品を仕上げ、提出する。
- ・ワークシートの提出。

8 担当者からの一言

書道は、筆に墨をつけて紙に書くというシンプルな行程でおこなわれます。その作業から生まれる作品は様々な要素を含み、大変奥深いものです。皆さんも、書道の奥深さに触れてみてください。

(担当：小川 貴史)